

第11回 山梨県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

1. 開催日時：令和5年7月6日（木）14：00～15：30

2. 場 所：KKR甲府 ニュー芙蓉

3. 出席委員：

【議長】市川 聡（一般財団法人 山梨社会保険協会 常務理事関）
萱沼 恵光（山梨県教育庁高校教育課 課長）
鷹野 幸仁（甲府市市民部市民課 課長）
越石 寛（甲府商工会議所 専務理事）
佐藤 成徳（厚生労働省関東信越厚生局 年金調整課長）
浅川 文明（全国健康保険協会山梨支部 支部長）
相田 敏夫（山梨県社会保険労務士会 会長）

（敬称略）

4. 議題

- （1）令和4年度 山梨県地域年金展開事業の事業実施結果報告
- （2）令和5年度 山梨県地域年金展開事業の事業計画（案）
- （3）意見交換

5. 意見概要（○：委員意見等、●：機構からの説明）

○毎年2月に年金セミナーが集中しているため、実施校拡大にあたり新規で実施する学校はできるだけ2月以外の月で実施する方針と伺ったが、学校側として生徒の進路が決まり社会へ巣立っていく時期に公的年金についても理解しておいてほしいという事情がある。

●年金セミナーの実施時期については実施させていただく学校の都合を優先しており、2月にこれまで以上の件数を実施できないということではありません。ただし、同じ日に複数の実施依頼があり日程調整が必要となる場合もあることから、学校へはお願いとして2月以外の実施を提案していきたいという意味です。

○コロナ禍の影響で、生徒が一人1台ずつパソコンを使いオンライン授業を受けることができるようになった。このメリットを活用して、オンラインによる年金セミナーを積極的に実施すべきではないか。

●これまで日本年金機構でも、感染症対策のためオンラインによる年金セミ

ナーをアピールしてきました。新型コロナウイルスが5類に変わって以降も学校からの要望を踏まえオンラインセミナーを実施していきます。

○以前、ある学校の評価委員を担っていたことがあり、当時と比較して年金セミナーが活発に行われていると感じている。生徒が学校を卒業する前に年金や税金について知識を得ることは重要なことなので、根気よく活動してほしい。

●最終的にすべての学校で年金セミナーを開催し、生徒さんに年金に関する知識を身に付けて卒業していただくことを目標に頑張ります。

○教師は教えることのプロなので、学校側と年金セミナー講師になる職員とで、スキルアップのための勉強会を開催してみてもどうか。

●日本年金機構では教員OBの方に地域年金推進員を担っていただき、山梨県に3人の推進員がいます。これまでも不定期ではありますが、推進員に職員のコーチをしてもらうなどスキルアップの機会を設けてきました。今後も推進員を有効に活用し年金セミナーの質の向上に努力していきます。

○年金セミナーの開催や年金エッセイの募集について、学校側に働きかけることは当然として、生徒の保護者に重要性を理解してもらうことも必要と思う。

●その通りだと思います。具体的な方法等この場でお示しすることはできませんが、今後ご意見を意識して各種取り組みを進めていきます。

○SNSの影響力は特に若い世代には甚大なため、今後この分野での広報や情報発信を強化すべき。

●ポスターやチラシ等の紙媒体の広報と併せて、日本年金機構ホームページをはじめとしたソーシャルメディアによる広報にも注力していきます。

○人間はおしなべて「自分が損をしている」と思うと、積極的にアクションを起こす傾向があるように思う。年金制度が資産形成のための重要な手段だということをアピールして広報してみてもどうか。

●公的年金制度のメリットの一つとして、将来のための資産形成という考えはあります。それ以外に相互扶助や社会的な義務といった側面もあるので、偏りのないバランスの取れた広報を心がけます

- 日本年金機構では、毎年職員同士で模擬セミナーを行い、セミナー王を選出していると聞いている。審査員として機構職員以外の外部の人を入れてみてはどうか。
- 今年度については、セミナー王決定戦を行わない予定ですが、今後の参考としてご意見を伺います。

- 本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。
皆様からいただいたご意見につきましては、日本年金機構全体で情報共有し、より効率的かつ効果的な地域年金展開事業を推進していく所存です。
今後とも、当機構の事業運営にご理解とご協力をお願いいたします。